2025年度

情報処理科
講義計画集

― 第1学年 ―

氏名

船橋情報ビジネス専門学校
〒273-0005　船橋市本町7-12-16
電話:047-425-1051

2025年度　（令和7年度）　年間計画表

前　期

4月		5月		6月		7月		8月	
1 火		1 木	木4回	1 日		1 火	火11回	1 金	就職個人面談
2 水	新入生オリエンテーション	2 金	金4回	2 月	月8回	2 水	水12回	2 土	
3 木		3 土	憲法記念日	3 火	火7回	3 木	木12回	3 日	
4 金	入学式	4 日	みどりの日	4 水	水8回	4 金	金13回	4 月	夏期集中対策①
5 土		5 月	こどもの日	5 木	木8回	5 土		5 火	夏期集中対策②
6 日		6 火	振替休日	6 金	金9回	6 日		6 水	
7 月		7 水	水4回	7 土		7 月	月13回	7 木	夏期集中対策③
8 火		8 木	**月曜振替4回**	8 日	科目A免除試験	8 火	火12回	8 金	夏期集中対策④
9 水	前期スタート 水1回	9 金	金5回	9 月	月9回	9 水	水13回	9 土	
10 木	木1回	10 土		10 火	火8回	10 木	体育祭	10 日	
11 金	金1回	11 日		11 水	水9回	11 金	金14回	11 月	山の日
12 土		12 月	月5回	12 木	木9回	12 土		12 火	受付業務停止
13 日		13 火	火4回	13 金	金10回	13 日		13 水	
14 月	月1回	14 水	水5回	14 土		14 月	月14回	14 木	
15 火	火1回	15 木	木5回	15 日	県民の日	15 火	火13回	15 金	
16 水	水2回	16 金	金6回	16 月	月10回	16 水	水14回	16 土	
17 木	木2回	17 土		17 火	火9回	17 木	木14回	17 日	
18 金	金2回	18 日		18 水	水10回	18 金	金15回	18 月	夏期集中対策⑤
19 土		19 月	月6回	19 木	木10回	19 土		19 火	夏期集中対策⑥
20 日		20 火	火5回	20 金	金11回	20 日		20 水	夏期集中対策⑦
21 月	月2回	21 水	水6回	21 土		21 月	海の日	21 木	夏期集中対策⑧
22 火	火2回	22 木	木6回	22 日		22 火	火14回	22 金	
23 水	水3回	23 金	金7回	23 月	月11回	23 水	水15回	23 土	
24 木	木3回	24 土		24 火	火10回	24 木	木15回	24 日	
25 金	金3回	25 日		25 水	水11回	25 金	金16回	25 月	夏期集中対策⑨
26 土		26 月	月7回	26 木	木11回	26 土		26 火	夏期集中対策⑩
27 日		27 火	火6回	27 金	金12回	27 日	科目A免除試験	27 水	夏期集中対策⑪
28 月	月3回 J科合同レク	28 水	水7回	28 土		28 月	月15回	28 木	夏期集中対策⑫
29 火	昭和の日	29 木	木7回	29 日		29 火	火15回	29 金	
30 水	**火曜振替3回**	30 金	金8回	30 月	月12回	30 水	水16回	30 土	
		31 土				31 木	就職個人面談	31 日	

ITパスポート試験受験期間

前期試験

※新入生オリエンテーションで胸部レントゲン撮影実施

検定前:
直前対策実施
（通年）

個人面談

5/19～6/6
科目A免除試験
直前対策:最長19時

5/19～6/6
科目A免除試験
直前対策:最長19時

体育祭:6月末～7月頭

ITパスポート試験

7/10 体育祭

情報検定
※スケジュール別途

後　期

9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 月	夏期集中対策⑬	1 水	水3回	1 土		1 月	月10回	1 木	元旦	1 日		1 日	
2 火	夏期集中対策⑭	2 木	木4回	2 日		2 火	火10回	2 金		2 月	後期試験 月16回	2 月	27卒学内合説
3 水	FJB部活動合同合宿	3 金	金4回	3 月	文化の日	3 水	水11回	3 土		3 火	火15回	3 火	就職活動・対策 AP集中対策⑫
4 木	FJB部活動合同合宿	4 土		4 火	火6回	4 木	木12回	4 日		4 木	追試	4 水	就職活動・対策 AP集中対策⑬
5 金		5 日		5 水	水7回	5 金	金13回	5 月		5 木	就職活動・対策 AP集中対策①	5 木	卒業生登校日
6 土		6 月	月4回	6 木	木9回	6 土		6 火		6 金	就職活動・対策 AP集中対策②	6 金	卒業式
7 日		7 火	火3回	7 金	金9回 PM美化活動	7 日	ジョブパス	7 水		7 土		7 土	学校見学会
8 月	夏期集中対策⑮	8 水	水4回	8 土		8 月	月11回	8 木	木14回	8 日		8 日	
9 火	夏期集中対策⑯	9 木	木5回	9 日		9 火	火11回	9 金	金14回	9 月	就職活動・対策 AP集中対策③	9 月	就職活動・対策 AP集中対策⑭
10 水	後期スタート 水1回	10 金	金5回	10 月	月7回	10 水	水12回	10 土		10 火	就職活動・対策 AP集中対策④	10 火	就職活動・対策 AP集中対策⑮
11 木	木1回	11 土		11 火	火7回	11 木	木13回	11 日		11 水	建国記念の日	11 水	就職活動・対策 AP集中対策⑯
12 金	金1回	12 日	国家試験	12 水	水8回	12 金	27卒就職G	12 月	成人の日	12 木	卒業研究発表会	12 木	就職活動・対策 AP集中対策⑰
13 土		13 月	スポーツの日	13 木	木10回	13 土		13 火	火12回	13 金	卒業研究発表会	13 金	終業式
14 日		14 火	火4回	14 金	金10回	14 日		14 水	水13回	14 土		14 土	
15 月	敬老の日	15 水	水5回	15 土		15 月	27卒就職G	15 木	**月曜振替12回**	15 日		15 日	
16 火	火1回	16 木	木6回	16 日		16 火	27卒就職個人面談	16 金	金15回	16 月	27卒就職G	16 月	就職活動・対策 AP集中対策⑱
17 水	**月曜振替1回**	17 金	金6回	17 月	月8回	17 水	27卒就職個人面談	17 土		17 火	27卒Web面接練習	17 火	就職活動・対策 AP集中対策⑲
18 木	研修合宿	18 土		18 火	火8回	18 木	27卒就職個人面談	18 日		18 木	就職活動・対策 AP集中対策⑤	18 水	就職活動・対策 AP集中対策⑳
19 金	研修合宿	19 日		19 水	水9回	19 金	27卒就職個人面談	19 月	月13回	19 木	在校生成績発表	19 木	就職活動・対策 AP集中対策㉑
20 土		20 月	月5回	20 木	木11回	20 土		20 火	火13回	20 金	就職活動・対策 AP集中対策⑥	20 金	春分の日
21 日		21 火	火5回	21 金	金11回	21 日		21 水	水14回	21 土		21 土	
22 月	月2回	22 水	水6回	22 土		22 月	27卒就職個人面談	22 木	木15回	22 日		22 日	
23 火	秋分の日	23 木	木7回	23 日	勤労感謝の日	23 火	27卒就職個人面談	23 金	金16回	23 月	天皇誕生日	23 月	就職活動・対策 AP集中対策㉒
24 水	水2回	24 金	金7回	24 月	振替休日	24 水	就職対策①	24 土		24 火	就職活動・対策 AP集中対策⑦	24 火	就職活動・対策 AP集中対策㉓
25 木	木3回	25 土	若幸祭前日準備	25 火	火9回	25 木	就職対策②	25 日		25 水	就職活動・対策 AP集中対策⑨	25 水	就職活動・対策 AP集中対策㉔
26 金	金3回	26 日	若幸祭当日	26 水	水10回	26 金	就職対策③	26 月	月14回	26 木	球技大会(希望者)	26 木	
27 土		27 月	若幸祭振替休日	27 木	**月曜振替9回**	27 土		27 火	火14回	27 金	就職活動・対策 AP集中対策⑪	27 金	就職活動・対策 AP集中対策㉕
28 日		28 火	若幸祭振替休日	28 金	金12回	28 日		28 水	水15回	28 土		28 土	
29 月	月3回	29 水	**月曜振替6回**	29 土		29 月		29 木	木16回			29 日	
30 火	火2回	30 木	木8回	30 日		30 火		30 金	後期試験 月曜振替15回			30 月	就職活動・対策 AP集中対策㉖
		31 金	金8回			31 水		31 土				31 火	就職活動・対策 AP集中対策㉗

基本情報技術者試験受験期間 予定

基本情報技術者試験受験期間 予定

情報セキュリティマネジメント試験受験期間

受付業務停止

9/3、4
部活動合同合宿
（該当者のみ）

9/18, 19
研修合宿

基本情報
技術者試験

10/25, 26
若幸祭

基本情報
技術者試験

情報セキュリティ
マネジメント試験

11/7地域美化活動

※性格適正試験

B検ジョブパス

※SPI模試

Microsoft Excel
※スケジュール別途

2/12, 13
卒業研究発表会

2/26
球技大会(希望者)

就活登校/合同説明会
※スケジュール別途

※27卒IIT,CHISA合説

1学年

本校の教育方針 …… 1
評価について／出欠席ルール …… 3
FJBネットID登録とメールアドレス …… 4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー …… 4
個人情報保護に関する基本方針 …… 5
教育目標と検定スケジュール …… 6

基礎理論	土屋 貴大、木村 拓海	7
国家試験対策	土屋 貴大・川崎 結里愛・木村 拓海	8
ハードウェア	木村 拓海	9
ソフトウェア	木村 拓海	10
ネットワーク	土屋 貴大	11
データベース	川崎 結里愛	12
システム設計	土屋　貴大	13
ストラテジ	川崎 結里愛	14
マネジメント	川崎 結里愛	15
セキュリティ	土屋 貴大・川崎 結里愛・木村 拓海	16
Web技術演習	小林 信彦	17
Java言語演習Ⅰ・Ⅱ	土屋 貴大、木村 拓海	18
アルゴリズムとデータ構造	土屋 貴大、木村 拓海	20
就職講座A	田邊　悦子・遠藤　幹雄	21
就職講座B	土屋 貴大、木村 拓海	22
SQL演習	川崎 結里愛	23
検定対策Ⅰ・Ⅱ	土屋 貴大・川崎 結里愛・木村 拓海	24
自己啓発	杉山　剛	26
Office演習Ⅰ・Ⅱ	森廣　永江	27
社会人基礎力Ⅰ・Ⅱ	土屋 貴大、木村 拓海	29

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校　長　　鳥　居　高　之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいるからです。しかし２年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。２年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の２つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

３つの守り

本校がとても大切にしている３つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

（１）バイク・自動車通学全面禁止。

（２）自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

（１）学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。

（２）授業開始前および終了後の５分間は使用禁止。（教員優先）

（３）３号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※路上はもちろん、駐車場やマンション共用部などの私有地での喫煙は地域の方に大変な迷惑をかけることになります。絶対にやめてください。（懲戒処分の対象となります）

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され過料(2,000円)の対象です

交通ルール

３号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。　takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

（１）評価とは成績証明書にＳ～Ｄで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
（２）評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。（点または%）

Ｓ　　９０以上
Ａ　　８０～８９
Ｂ　　５０～７９
Ｃ　　４０～４９
Ｄ　　３９以下

（３）評価Ｄの者は、単位未修得者として処理される。
（４）評価Ｄの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はＣとする。（特別な努力が認められたものは、Ｂ評価になることもある。）

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り
科目の評価（S～Dの5段階）に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)
に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、
少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。
なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの
科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。
GPA＝【GP　×　履修科目の単位数】の合計　/　履修科目の総単位数

出欠席ルール

（１）遅刻３回で欠課１回、欠課６回（１年生はSHR分の遅刻１回を含む）で１日の欠席とみなし、次の条件で換算する
・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻１」※SHRは１年生のみ
・授業開始15分までの入室で「遅刻１」
・授業開始15～45分までの入室で「欠課１」
・授業開始45～60分までの入室で「欠課１＋遅刻１」
※90分授業の前半45分の欠課１、後半15分までの遅刻１という考え方でカウントする
・授業開始60分以降の入室で「欠課２」
（２）年間５５日の欠席で進級停止、退学勧告。
（３）交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積１０日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積１０日になった時点で行う。
3	累積２５日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積２５日になった時点で行う。
4	累積４０日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積５０日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積５５日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・１ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する
（１）履修した全ての科目において単位修得していること
（２）原則として各年度において年間55日以上の欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

１．ユーザID登録について

本校では、学生１人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

２．メールアドレスについて

（１）科によってメールアドレスが設定されています。
　　詳細は担任から説明があります。

（２）「ＦＪＢインターネット＆イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

（３）Ｗｅｂメールでの各個人に与えられている容量は５０ＭＢまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

３．緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。（スマートフォンでも使用可能）各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

１．実習室の放課後開放について

放課後、午後６時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

２．実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

３．本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のＣＤ－ＲＯＭを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

４．ＵＳＢなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

５．実習ファイルを保存するための領域をＩドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

６．インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。ＨＰやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

７．インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。
また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園　船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

１．個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。

２．個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。

３．取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
（１）本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
（２）就職指導、企業紹介、就職活動支援を行うため
（３）入学相談および募集活動を行うため
（４）入学選考試験業務を行うため
（５）各種証明書等の発行業務を行うため
（６）上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため

４．本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
（１）在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
（２）在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
（３）学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
（４）職業紹介で応募を希望する求人先に対し、応募情報の提供
（５）職業紹介で求職者に開示の許諾を得た業務提携先に対し、応募情報の提供
（６）就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
（７）本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
（８）上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合

５．上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。

６．以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長　鳥居　高之
０４７－４２５－１０５１
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

２０２５年度　教育目標と検定スケジュール

1年生

情報処理科

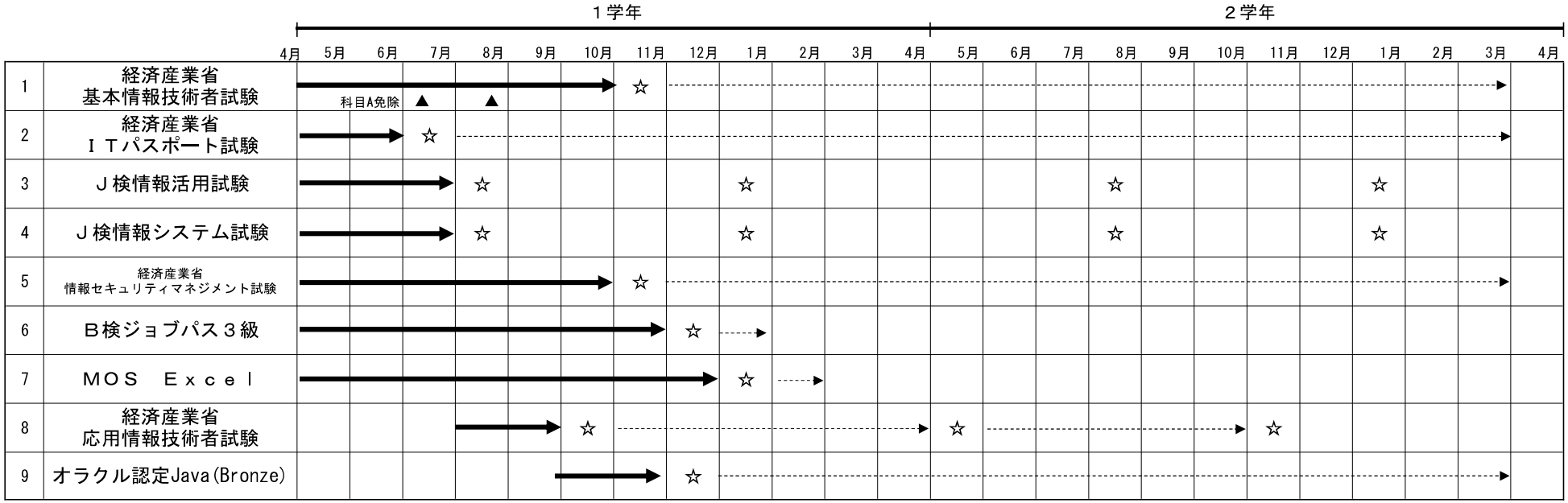
教育目標	・経済産業省 基本情報技術者試験の合格 ・システム構築に必要な技術の習得（システム設計技法，プログラミング技術，データベース利用技術） ・社会人として必要な能力の養成（コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力） ・システム構築に必要な論理的思考能力の向上
目標資格	・経済産業省 応用情報技術者試験 ・経済産業省 基本情報技術者試験 ・経済産業省 ITパスポート試験 ・経済産業省 情報セキュリティマネジメント試験
進級条件	① 科目A免除試験合格　or　ITパスポート　or　J検 ② B検ジョブパス3級 ③ Javaプログラミング課題
卒業条件	① 情報系 国家試験 ② 他２つ以上の資格

＜方針＞

１年次：資格取得（座学中心）
- 基本情報技術者試験合格を第一目標に、IT基礎知識を身につける
- 自分で考え、答えを導き出す力を身につける
- IT業界やその職種について研究し、就職活動に向けての意識づけを行い、働くということについて考える

２年次：実務能力養成（コンピュータを使った演習中心）
- 理論と演習を通じて、システムエンジニア・プログラマーの仕事を体験し、仕事に必要な意識や姿勢を考える
- グループでのシステム開発を通じ、人と共に働く力の向上を図る

２年間を通して
- 企業に役立つ高度な人材及び良き社会人の養成を目指す
- 社会人として必要な論理力、表現力、マナーの定着を図り、実践的なにコミュニケーション能力を養う
- プレゼンテーション能力、目的に応じたドキュメント作成の基礎を習得する
- 限られた時間の使い方を考え、納期を意識した計画的な作業を実践できるようにする



情報処理科	1年

【前期】

科　目	基礎理論	分　類	専門、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大、2組：木村 拓海		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「基礎理論」の知識を身につける

2. 授業の目標（検定取得など）

基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと
また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけること

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス、情報の単位	授業の方針、情報の単位、2進数・8進数・16進数について
2	情報の単位	授業の方針、情報の単位、2進数・8進数・16進数について
3	基数変換（1）	2進数⇔10進数、小数や整数の2進数⇔10進数
4	基数変換（1）	2進数⇔10進数、小数や整数の2進数⇔10進数
5	基数変換（2）	2進数⇔16進数、2進数⇔8進数、文字の表現
6	基数変換（2）	2進数⇔16進数、2進数⇔8進数、文字の表現
7	補数	1の補数、2の補数、2の補数を用いた2進数の変換、2進数nビットで表現できる値
8	補数	1の補数、2の補数、2の補数を用いた2進数の変換、2進数nビットで表現できる値
9	小数点形式、誤差	固定小数点、浮動小数点、誤差、シフト演算
10	小数点形式、誤差	固定小数点、浮動小数点、誤差、シフト演算
11	論理演算	集合、論理演算、ベン図、ビットマスク演算
12	論理演算	集合、論理演算、ベン図、ビットマスク演算
13	情報に関する論理関連項目	論理回路、形式言語、オートマトン、逆ポーランド記法、AI
14	情報に関する論理関連項目	論理回路、形式言語、オートマトン、逆ポーランド記法、AI
15	科目A免除試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
16	科目A免除試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備　考	

情報処理科	1年

【後期】

科　目	国家試験対策	分　類	専門、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大・川崎 結里愛、2組：木村 拓海・川崎 結里愛		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	0%	60%	40%	100%

単位数	8

1. 授業の概要

国家試験に向けての対策を行う
11月の国家試験直前3週間は、過去問題の演習→解説→理解を反復で繰り返す

2. 授業の目標（検定取得など）

国家試験に合格する

3. 注意点・要望

試験合格を目指すのは勿論だが、社会に出てから必要となる基礎知識を確実に身に付けるべく取り組むこと

4. 関連科目

アルゴリズムとデータ構造、ストラテジ、マネジメント、ネットワーク、セキュリティ

週	テーマ	内　容
1	過去問題対策（1）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
2	過去問題対策（2）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
3	過去問題対策（3）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
4	過去問題対策（4）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
5	過去問題対策（5）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
6	過去問題対策（6）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
7	過去問題対策（7）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
8	過去問題対策（8）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
9	過去問題対策（9）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
10	過去問題対策（10）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
11	受験資格決定	自己採点・試験結果を基に春期の受験資格を決定し、 スケジュール・試験概要の確認
12	過去問題対策（11）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
13	過去問題対策（12）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
14	過去問題対策（13）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
15	過去問題対策（14）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
16	過去問題対策（15）	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	ハードウェア	分　類	専門科目、必修科目
担　当	木村 拓海		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ハードウェア」の知識を身につける

2. 授業の目標（検定取得など）

「ハードウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省　基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
「ハードウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと
また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけてください

4. 関連科目

基礎理論、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、ストラテジ、マネジメント、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	コンピュータの基本構成、CPU	コンピュータの5大装置、CPUの構成、命令語、命令実行の流れ アドレス指定方式、CPUの性能、CPUアーキテクチャ、CPUの高速化技法
2	コンピュータの基本構成、CPU	コンピュータの5大装置、CPUの構成、命令語、命令実行の流れ アドレス指定方式、CPUの性能、CPUアーキテクチャ、CPUの高速化技法
3	記憶装置、メモリ	記憶階層、メモリの種類、メモリアクセスの高速化技術、キャッシュメモリ メモリインタリーブ、メモリの実行アクセス時間
4	記憶装置、メモリ	記憶階層、メモリの種類、メモリアクセスの高速化技術、キャッシュメモリ メモリインタリーブ、メモリの実行アクセス時間
5	磁気ディスク装置、バス関連	補助記憶装置、磁気ディスク装置の記憶方法、アクセス時間、光ディスク バスの種類・特徴
6	磁気ディスク装置、バス関連	補助記憶装置、磁気ディスク装置の記憶方法、アクセス時間、光ディスク バスの種類・特徴
7	入出力装置、システムの処理、システム構成方式、クライアントサーバ	入出力装置、インタフェースの伝送方式、有線・無線入出力インタフェース、バッチ処理、集中・分散処理、デュプレックス・デュアルシステム、クライアントサーバシステム
8	入出力装置、システムの処理、システム構成方式、クライアントサーバ	入出力装置、インタフェースの伝送方式、有線・無線入出力インタフェース、バッチ処理、集中・分散処理、デュプレックス・デュアルシステム、クライアントサーバシステム
9	RAID、高信頼設計、システムの性能評価、システムの信頼性	RAID0、RAID1、RAID5、フォールトアボイダンス、フォールトトレランス、システムの性能指標、システムの性能評価方法、稼働率、RASIS、バスタブ曲線
10	RAID、高信頼設計、システムの性能評価、システムの信頼性	RAID0、RAID1、RAID5、フォールトアボイダンス、フォールトトレランス、システムの性能指標、システムの性能評価方法、稼働率、RASIS、バスタブ曲線
11	科目A免除試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策（3）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策（4）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備　考	カスタマエンジニアとして勤務経験のある教員が、その経験を活かしてハードウェア・ソフトウェア・について、経験を絡めて講義を行う

情報処理科	1年

【前期】

科　目	ソフトウェア	分　類	専門科目、必修科目
担　当	木村 拓海		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ソフトウェア」の知識を身につける

2. 授業の目標（検定取得など）

「ソフトウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省　基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
「ソフトウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと
また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけてください

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策

週	テーマ	内　容
1	オペレーティングシステム（1）	オペレーティング（OS）の種類と特徴、OSの機能、ジョブ管理、タスク管理(割込み)
2	オペレーティングシステム（1）	オペレーティング（OS）の種類と特徴、OSの機能、ジョブ管理、タスク管理(割込み)
3	オペレーティングシステム（2）	実記憶管理、仮想記憶管理、言語プロセッサ（コンパイラ、インタプリタ）
4	オペレーティングシステム（2）	実記憶管理、仮想記憶管理、言語プロセッサ（コンパイラ、インタプリタ）
5	ファイルシステム・OSS	ファイルシステムの種類と特徴、アクセス手法、ディレクトリ管理、相対パス、絶対パス、ファイル編成、OSSの特徴と種類
6	ファイルシステム・OSS	ファイルシステムの種類と特徴、アクセス手法、ディレクトリ管理、相対パス、絶対パス、ファイル編成、OSSの特徴と種類
7	マルチメディア技術	各種データ形式(画像、動画、音声)、CG(画像処理)
8	マルチメディア技術	各種データ形式(画像、動画、音声)、CG(画像処理)
9	科目A免除試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
10	科目A免除試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
11	科目A免除試験対策（3）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策（4）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策（5）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策（6）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
15	科目A免除試験対策（7）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
16	科目A免除試験対策（8）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備　考	カスタマエンジニアとして勤務経験のある教員が、その経験を活かしてハードウェア・ソフトウェア・について、経験を絡めて講義を行う

情報処理科	1年

【前期】

科　目	ネットワーク	分　類	専門科目、必修科目
担　当	土屋 貴大		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分なネットワークの知識を身に付ける

2. 授業の目標（検定取得など）

（1）ネットワークの基礎知識を押さえ、経済産業省　基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
（2）ネットワークの基礎知識を押さえ、経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

予習は必要ありませんが、復習をしっかりと行って完璧な状態で授業に参加してください

4. 関連科目

セキュリティ、ハードウェア、ソフトウェア、検定対策Ⅰ、国家試験対策

週	テーマ	内　容
1	ネットワーク、データの制御	ネットワークの種類、ネットワークの構成要素、伝送制御、伝送制御の種類 メディアアクセス制御方式
2	ネットワーク、データの制御	ネットワークの種類、ネットワークの構成要素、伝送制御、伝送制御の種類 メディアアクセス制御方式
3	通信プロトコル（1）	OSI基本参照モデル
4	通信プロトコル（1）	OSI基本参照モデル
5	通信プロトコル（2）	TCP／IP
6	通信プロトコル（2）	TCP／IP
7	IPアドレス	アドレスクラス、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレス サブネッティング、ルーティング、NATとNAPT
8	IPアドレス	アドレスクラス、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレス サブネッティング、ルーティング、NATとNAPT
9	インターネットへの接続	回線に関する計算、伝送時間、伝送時間の求め方
10	インターネットへの接続	回線に関する計算、伝送時間、伝送時間の求め方
11	科目A免除試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策（3）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策（4）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	データベース	分　類	専門科目、必修科目
担　当	川崎　結里愛		
テキスト （出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

データベースに関する基礎知識の学習

2. 授業の目標（検定取得など）

基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと
また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけること

4. 関連科目

SQL演習、検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策

週	テーマ	内　容
1	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計（概念・論理・物理）手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義（DDL）
2	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計（概念・論理・物理）手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義（DDL）
3	排他制御と障害回復処理	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理
4	排他制御と障害回復処理	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理
5	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新
6	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新
7	ビュー定義、その他のSQL、正規化	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新、正規化
8	ビュー定義、その他のSQL、正規化	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新、正規化
9	科目A免除試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
10	科目A免除試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
11	科目A免除試験対策（3）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策（4）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策（5）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策（6）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	システム設計	分　類	専門科目、必修科目
担　当	土屋　貴大		
テキスト （出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

情報処理技術者試験の出題分野である「ソフトウェア設計」を通して、IT技術を利活用する者に必要な基礎知識を習得していく

2. 授業の目標（検定取得など）

「ソフトウェア設計」の基礎知識を押さえ、経済産業省　基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
「ソフトウェア設計」の基礎知識を押さえ、経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

情報システム開発に関する知識を通して、ITエンジニア或いはIT利活用者としての姿勢はどうあるべきか意識してください
そのためにも、復習をしっかり行って完璧な状態で授業に参加してください

4. 関連科目

基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、
ストラテジ、マネジメント、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	システム開発技術（1）	システム要件定義、システム方式設計、ソフトウェア要件定義
2	システム開発技術（1）	システム要件定義、システム方式設計、ソフトウェア要件定義
3	システム開発技術（2）	ソフトウェア方式設計、ソフトウェア詳細設計、ソフトウェア構築
4	システム開発技術（2）	ソフトウェア方式設計、ソフトウェア詳細設計、ソフトウェア構築
5	システム開発技術（3）	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト システム結合・システム適格性確認テスト
6	システム開発技術（3）	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト システム結合・システム適格性確認テスト
7	システム開発技術（4）	導入、受入れ支援、保守・廃棄
8	システム開発技術（4）	導入、受入れ支援、保守・廃棄
9	ソフトウェア開発管理技術（1）	開発プロセス・手法
10	ソフトウェア開発管理技術（1）	開発プロセス・手法
11	ソフトウェア開発管理技術（2）	構成管理・変更管理
12	ソフトウェア開発管理技術（2）	構成管理・変更管理
13	基本情報科目A免除試験対策（1）	科目A試験の過去問演習、復習
14	基本情報科目A免除試験対策（2）	科目A試験の過去問演習、復習

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	ストラテジ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	川崎　結里愛		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ストラテジ」の知識を身につける

2. 授業の目標（検定取得など）

（1）ストラテジの基礎知識を押さえ、経済産業省　基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
（2）ストラテジの基礎知識を押さえ、経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと
また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけること

4. 関連科目

基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	システム戦略（1）	情報システム戦略、情報システムの戦略の設計、情報システムの戦略の管理
2	システム戦略（1）	情報システム戦略、情報システムの戦略の設計、情報システムの戦略の管理
3	システム戦略（2）	業務プロセス、ソリューションビジネス、調達計画、調達実施
4	システム戦略（2）	業務プロセス、ソリューションビジネス、調達計画、調達実施
5	経営戦略	経営戦略手法、マーケティング、技術開発計画、eビジネス、 エンジニアリングシステム
6	経営戦略	経営戦略手法、マーケティング、技術開発計画、eビジネス、 エンジニアリングシステム
7	企業と法務	経営・組織論、OR、IE、知的財産権、情報セキュリティ関連法規、 労働関連法規、取引関連法規、会計・財務
8	企業と法務	経営・組織論、OR、IE、知的財産権、情報セキュリティ関連法規、 労働関連法規、取引関連法規、会計・財務
9	科目A免除試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
10	科目A免除試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
11	科目A免除試験対策（3）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策（4）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策（5）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策（6）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	マネジメント	分　類	専門科目、必修科目
担　当	川崎　結里愛		
テキスト （出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「マネジメント」の知識を身につける

2. 授業の目標（検定取得など）

（1）マネジメントの基礎知識を押さえ、経済産業省　基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
（2）マネジメントの基礎知識を押さえ、経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと
また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけること

4. 関連科目

基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	プロジェクトマネジメント（1）	プロジェクトマネジメントの目的、PMBOK、スコープ管理、WBS アローダイアグラム、クリティカルパス、進捗管理
2	プロジェクトマネジメント（1）	プロジェクトマネジメントの目的、PMBOK、スコープ管理、WBS アローダイアグラム、クリティカルパス、進捗管理
3	プロジェクトマネジメント（2）	見積り技法、コミュニケーションマネジメント、リスクマネジメント
4	プロジェクトマネジメント（2）	見積り技法、コミュニケーションマネジメント、リスクマネジメント
5	サービスマネジメント	リスク、リスクの識別、リスク対応計画、ITIL、SLA、 システム監査の目的、システム監査人、システム監査の流れ、内部統制
6	サービスマネジメント	リスク、リスクの識別、リスク対応計画、ITIL、SLA、 システム監査の目的、システム監査人、システム監査の流れ、内部統制
7	科目A免除試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
8	科目A免除試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
9	科目A免除試験対策（3）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
10	科目A免除試験対策（4）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
11	科目A免除試験対策（5）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策（6）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策（7）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策（8）	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	セキュリティ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大・川崎 結里愛、2組：木村 拓海・川崎 結里愛		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「セキュリティ」の知識を身に付ける
秋期情報処理技術者試験に向けて、必須分野である情報セキュリティに関する解法ポイントを押さえる

2. 授業の目標（検定取得など）

「セキュリティ」の基礎知識を押さえ、経済産業省　基本情報技術者試験の科目A免除試験と科目B試験に合格する
「セキュリティ」の基礎知識を押さえ、経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

予習は必要ありませんが、復習をしっかりと行って完璧な状態で授業に参加してください

4. 関連科目

基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、
ストラテジ、マネジメント、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	情報セキュリティ（1）	情報セキュリティの目的と考え方
2	情報セキュリティ（2）	情報セキュリティの重要性、脅威
3	情報セキュリティ（3）	脆弱性、攻撃手法、情報セキュリティに関する技術
4	情報セキュリティ管理（1）	リスク分析と評価、情報セキュリティポリシ
5	情報セキュリティ管理（2）	情報セキュリティマネジメントシステム、セキュリティ機関
6	情報セキュリティ技術評価、対策	評価基準、ISO/IEC、セキュリティ対策（人的、技術的、物理的）
7	情報セキュリティ実装技術	セキュリティプロトコル、認証プロトコル、ネットワークセキュリティ
8	総まとめ演習	基本情報技術者試験科目A免除試験対策
9	科目B試験対策（1）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
10	科目B試験対策（2）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
11	科目B試験対策（3）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
12	科目B試験対策（4）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
13	科目B試験対策（5）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
14	科目B試験対策（6）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
15	科目B試験対策（7）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
16	科目B試験対策（8）	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策

備　考	

情報処理科	1年

【後期】

科　目	Web技術演習	分　類	専門科目、必修科目
担　当	小林 信彦		
テキスト（出版社）	スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版(SBクリエイティブ)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	70%	0%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

HTMLとCSSの基本を習得し、webページ作成ができるように演習を行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

フォームを含むHTMLの基礎、CSSによる一般的なレイアウト・デザインを身につける。

3. 注意点・要望

テキストに沿った演習の他に課題（自分のwebページ）を作成する。積極的に作成し、確実に提出すること。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス・HTMLで文書を作成する	授業の進め方と課題の提出方法、評価について HTMLの概要、エディタソフトについて
2	HTMLで文書を作成する	文章をHTMLでマークアップする
3	HTMLで文書を作成する	文章をHTMLでマークアップする
4	HTMLで文書を作成する	画像やリンクを挿入する
5	HTMLで文書を作成する	画像やリンクを挿入する
6	HTMLで文書を作成する	表とリストの作成
7	CSSで文書を装飾する	CSSの概要とページスタイルの調整
8	CSSで文書を装飾する	文書のスタイル調整
9	CSSで文書を装飾する	背景画像と文書のレイアウト
10	CSSで文書を装飾する	基本的な文書のレイアウト
11	CSSで文書を装飾する	基本的な文書のレイアウト
12	フォームの作成	表組みと入力フォームのスタイリング
13	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する
14	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する
15	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する
16	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	Java言語演習Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大、2組：木村 拓海		
テキスト（出版社）	わかりやすいJava入門編　第3版(秀和システム)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	35%	35%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

Javaの基本的な使い方や制御構造、開発環境などについて学習する
テキストを使用した講義を行い、パソコンでプログラムを組み上げ、課題や筆記の小テストを実施し、知識の定着を図る

2. 授業の目標（検定取得など）

プログラムの作成、解読、エラーやバグなどの解析能力、コメントの付け方や動作確認の観点を身につける

3. 注意点・要望

２年次の授業でもJavaを活用するため、１年次進級課題のプログラムはJavaで作成する
就職後の実務能力に直結することを意識して取り組むこと

4. 関連科目

アルゴリズムとデータ構造

週	テーマ	内　容
1	導入	Java言語の特徴、動作環境と開発環境、 Eclipseを使ったプログラミング方法、プログラムを記述する際のルール
2	Javaの基本	プログラムの構造、コメントの書き方、文字列の扱い方、画面出力の方法
3	変数	整数、実数、論理値などの基本データ型と、データを扱うための変数
4	式と演算子	加減乗除など代表的な演算子と、インクリメントやデクリメント、 演算の優先順位について
5	変数とキーボード入力	変数とキーボードから入力した値を扱う
6	分岐処理（1）	if文を使った分岐処理
7	分岐処理（2）	関係演算子と等価演算子、if～else文
8	分岐処理（3）	if文を使った複数の分岐処理と、switch文による分岐処理
9	繰り返し処理（1）	while文を使った繰り返し処理
10	繰り返し処理（2）	for文を使った繰り返し処理
11	配列（1）	配列の宣言と配列の利用方法
12	配列（2）	繰り返し文と配列を組み合わせたプログラム
13	配列（3）	繰り返し文と配列を組み合わせたプログラム
14	配列（4）	多次元配列
15	配列（5）	多次元配列
16	配列（6）	多次元配列

備　考	

情報処理科	1年

【後期】

科　目	Java言語演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大、2組：木村 拓海		
テキスト（出版社）	わかりやすいJava入門編　第3版(秀和システム)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	35%	35%	0%	30%	100%

単位数	3

1. 授業の概要

オブジェクト指向プログラミングについて学び、総合演習として進級課題となるアプリケーションの開発を行う
基本情報技術者試験に向けたアルゴリズム中心の講義も行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

オブジェクト指向を学び、アルゴリズムの考え方を活用して、自分でアプリケーション開発（進級課題）が行える力を身につける

3. 注意点・要望

２年次の授業でもJavaを活用するため、１年次進級課題のプログラムはJavaで作成する
就職後の実務能力に直結することを意識して取り組むこと

4. 関連科目

アルゴリズムとデータ構造

週	テーマ	内　容
1	クラス	オブジェクト指向の考え方、クラスの構造と作成方法
2	フィールド	フィールドの概要について
3	メソッド	メソッドの構造と作成方法、メソッドの呼び出し方を学習する
4	インスタンス	クラスとインスタンス生成について
5	メソッドの引数	メソッドの引数について
6	メソッドの戻り値	メソッドの戻り値について
7	カプセル化（1）	カプセル化の目的とJavaでの実装方法を学習する
8	カプセル化（2）	ゲッターセッターの詳細と自動生成方法について
9	クラス図（1）	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成
10	クラス図（2）	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成
11	コンストラクタ（1）	コンストラクタの概要と使い方について
12	コンストラクタ（2）	コンストラクタの概要と使い方について
13	インスタンス配列	インスタンスの考え方
14	アプリケーション作成演習（1）	Java言語を用いたアプリケーション開発（進級課題）
15	アプリケーション作成演習（2）	Java言語を用いたアプリケーション開発（進級課題）
16	アプリケーション作成演習（3）	Java言語を用いたアプリケーション開発（進級課題）

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	アルゴリズムとデータ構造	分　類	専門科目、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大、2組：木村　拓海		
テキスト（出版社）	出るとこだけ！基本情報技術者［科目B］第4版(翔泳社) 基本情報技術者科目B問題集(インフォテック・サーブ)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	20%	30%	100%

単位数	5

1. 授業の概要

アルゴリズムとはコンピュータへ作業手順を表現するためのものであり、その考え方を扱うデータ構造とともに要点を押さえる
秋期情報処理技術者試験に向けて、必須分野であるアルゴリズムに関する解法ポイントを押さえる

2. 授業の目標（検定取得など）

経済産業省　基本情報技術者試験に合格する
経済産業省　ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

単なるパターン学習ではなく、処理の一つ一つを紙上でデータを動かすことで処理内容の理解に努めること
紙上でのデータの流れを理解した上で、どのような処理手順が必要なのかを自問しながら学習すること

4. 関連科目

Java言語演習、ハードウェア、ソフトウェア、検定対策Ⅰ,Ⅱ、国家試験対策

週	テーマ	内　容
1	アルゴリズム（1）	基礎と流れ図
2	アルゴリズム（2）	変数と代入文 分岐
3	アルゴリズム（3）	配列・リスト　繰返し
4	アルゴリズム（4）	最大値　最小値　合計　平均
5	アルゴリズム（5）	線形探索　2分探索
6	アルゴリズム（6）	データ構造　整列法　2重ループ
7	基本情報技術者試験科目A免除対策	過去問題演習、復習
8	基本情報技術者試験科目A免除対策	過去問題演習、復習
9	疑似言語（1）	基礎構文　算術演算　変数　比較演算　論理演算　和・積演算　（問題演習）
10	疑似言語（2）	if文　for文　while文　do-while文　if+繰りかえし　（問題演習）
11	疑似言語（3）	配列　繰り返しと配列　2次元配列　（問題演習）
12	疑似言語（4）	関数（引数・戻り値）　大域変数　（問題演習）
13	疑似言語（5）	オブジェクト指向　クラス　インスタンス　（問題演習）
14	基本情報技術者試験科目B対策	問題演習、復習
15	基本情報技術者試験科目B対策	問題演習、復習
16	基本情報技術者試験科目B対策	問題演習、復習

備　考	

情報処理科	1年

【後期】

科　目	就職講座A	分　類	教養科目、必修科目
担　当	田邊　悦子・遠藤　幹雄		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	30%	40%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

就職活動の流れを知り、自己分析や企業研究ができる力を身につける
内定をいただくためにやるべきこと、必要なことを考える

2. 授業の目標（検定取得など）

①自分を知る　②企業を知る　③準備をする　④不安を減らす

3. 注意点・要望

授業課題は、①履歴書　②メール　③面接&エントリーシート対策ファイル　④報告書　等で評価
就職活動は教室で完結するものではないので、実際の活動やイベントへの参加も平常点として加味します

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	就職活動の流れ	ともに働きたい人、新卒の就職活動、新卒採用の特権、就職活動スケジュール 授業の目的、就職指導室の利用、Teamsの利用、学科担当教員の紹介
2	企業が求める人物像	グループディスカッションのポイントと実践、専門学校生の武器 就職活動用フォルダ作成
3	内定までの流れ＆エントリーの準備	内定までの流れ、就職活動支援サイト、自己分析 求人票検索システムの使い方、就職活動時の手続き
4	企業とのやりとり	主な提出書類、方法、注意事項、メールの基本、電話の基本
5	履歴書の作成	書き方のポイント、企業への提出方法、学校指定フォーマットでの履歴書作成
6	企業研究のポイント（1）	業種動向、企業の取引形態、職種とは、業界・企業研究の資料、企業名称
7	企業研究のポイント（2）	求人票、自己申告書・青少年雇用情報シート、自己申告書
8	企業研究のポイント（3）	SIerの分類、SIerの職種、IT系以外の職種
9	面接＆エントリーシート対策	メラビアンの法則、ハロー効果、自己PR・ガクチカ作成のポイント 対策シートの活用
10	面接試験（1）	挨拶の基本、身だしなみ、対策動画の視聴、Web面接に必要な準備
11	求職登録、就活支援サイトの活用 学校求人の確認	就職先の希望、必要となる条件等のアンケート、2027卒向け求人票の確認 就活支援サイト「マイナビ」の使い方
12	面接試験（2）	面接試験の種類、面接の流れと評価のポイント、面接試験前、面接室、終了後
13	これまでの準備と成果物の整理	履歴書、面接＆エントリーシート対策ファイル（ガクチカ、自己PR）
14	志望動機の作成	仕事のやりがい、企業研究の目的、志望動機のポイント 企業研究と併せて必要なこと
15	春休み期間中の活動に向けて	どうすればよい？　できる？できてる？　学内合同企業説明会参加企業の紹介
16	振り返り	

備　考	IT関連の業務経験と就職指導経験のある職員（職業紹介責任者）が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う

情報処理科	1年

【後期】

科　目	就職講座B	分　類	教養科目、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大、2組：木村　拓海		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

就職活動の進め方、履歴書作成、企業研究、電話・電子メールの活用と注意事項、求人の確認と応募の仕方
自己分析、自己PRの作成、面接における質問対応といった対策を行う

2. 授業の目標（検定取得など）

自分の進むべき道（希望職種、勤務地等の条件）を明確にし、活発に就職活動をするための準備及び求人への応募を行う
就職力（自ら考え判断し、調べる術）を培い、自ら企業に働きかけることができるようにする

3. 注意点・要望

公欠届、会社訪問カードや受験報告書等の書類の管理・提出はルールに従い、記入漏れや提出遅延なく行うこと
活動管理を行うため、応募企業の資料をファイリングできるようにファイルを準備し、丁寧かつ綺麗に管理すること

4. 関連科目

就職講座A、検定対策Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	就職活動の進め方	本校における就職活動時における公欠のルール、就職指導室の利用方法など
2	就職活動の進め方	本校における就職活動時における公欠のルール、就職指導室の利用方法など
3	自己分析	過去・現在・未来の自分を考え思い描き、自分自身の特性を知る
4	自己分析	過去・現在・未来の自分を考え思い描き、自分自身の特性を知る
5	履歴書（1）	履歴書の作成（得意な科目、長所、クラブ活動、趣味・特技）
6	履歴書（1）	履歴書の作成（得意な科目、長所、クラブ活動、趣味・特技）
7	履歴書（2）	履歴書の作成（清書）
8	履歴書（2）	履歴書の作成（清書）
9	企業研究	仕事の選び方（仕事選びの基準、職種研究、業界研究） 会社の選び方（求人票・会社四季報からの情報、会社案内、属性の検討）
10	企業研究	仕事の選び方（仕事選びの基準、職種研究、業界研究） 会社の選び方（求人票・会社四季報からの情報、会社案内、属性の検討）
11	企業へのアクセス	電話によるアクセス（電話応対の基本、電話アクセス事例） 電子メールによるアクセス（ビジネスメールの形式、ビジネスメール事例）
12	企業へのアクセス	電話によるアクセス（電話応対の基本、電話アクセス事例） 電子メールによるアクセス（ビジネスメールの形式、ビジネスメール事例）
13	企業説明会・インターンシップ（1）	企業説明会・インターンへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成
14	企業説明会・インターンシップ（1）	企業説明会・インターンへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成
15	面接試験 企業説明会・インターンシップ（2）	面接試験のねらい、面接試験の心構え、面接試験の形態と対策の実施 企業説明会・インターンシップへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成
16	面接試験 企業説明会・インターンシップ（2）	面接試験のねらい、面接試験の心構え、面接試験の形態と対策の実施 企業説明会・インターンシップへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成

備　考	企業人経験と就職指導実績のある教員が、その経験を活かして就職活動の準備に係るを指導する

情報処理科	1年

【後期】

科　目	SQL演習	分　類	専門科目、必修科目
担　当	川崎 結里愛		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	70%	0%	0%	30%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

データベースに関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標（検定取得など）

オラクルiSQLを用いて、実際にSQLを考え必要なデータベース管理をできるようにしていく。

3. 注意点・要望

２年次での卒業研究に活用するため、課題のSQL文を理解し、管理できるようにすること。

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策

週	テーマ	内　容
1	SQL対策（1）	テーブル定義、テーブル検索
2	SQL対策（1）	テーブル定義、テーブル検索
3	SQL対策（2）	UPDATE文　DELETE文　INSERT
4	SQL対策（2）	UPDATE文　DELETE文　INSERT
5	SQL対策（3）	WHERE句　LIKE演算子　BETWEEN演算子　IN演算子
6	SQL対策（3）	WHERE句　LIKE演算子　BETWEEN演算子　IN演算子
7	SQL対策（4）	DISTINCT　ORDER BY
8	SQL対策（4）	DISTINCT　ORDER BY
9	SQL対策（5）	CASE演算子　さまざまな関数
10	SQL対策（5）	CASE演算子　さまざまな関数
11	SQL対策（6）	集計関数（SUM　MAX　MIN　AVG　COUNT）　GROUP BY句　HAVING句
12	SQL対策（6）	集計関数（SUM　MAX　MIN　AVG　COUNT）　GROUP BY句　HAVING句
13	SQL対策（7）	課題演習
14	SQL対策（7）	課題演習
15	SQL対策（8）	課題演習
16	SQL対策（8）	課題演習

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	検定対策Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	1組：土屋　貴大・川崎 結里愛、2組：木村　拓海・川崎 結里愛		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	7

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の科目A免除試験、ITパスポート試験、J検に合格する為の受験テクニックを学習

2. 授業の目標（検定取得など）

基本情報処理技術者試験の科目A免除試験、 ITパスポート試験、J検に合格する

3. 注意点・要望

各試験についての確認テストを毎授業行うので、入念に準備をしておくこと
各試験については並行しての受験となる為、スケジュール管理を徹底すること

4. 関連科目

ハードウェア、ソフトウェア、ストラテジ、マネジメント、データベース、システム設計Ⅰ、
ネットワークとセキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、検定対策Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	基礎理論	授業の方針、情報の単位、2進数・8進数・16進数、基数変換 補助単位、論理演算
2	基本情報技術者試験 科目A免除対策（1）	前週講義分の確認テスト、復習
3	基本情報技術者試験 科目A免除対策（2）	前週講義分の確認テスト、復習
4	基本情報技術者試験 科目A免除対策（3）	前週講義分の確認テスト、復習
5	基本情報技術者試験 科目A免除対策（4）	前週講義分の確認テスト、復習
6	基本情報技術者試験 科目A免除対策（5）	前週講義分の確認テスト、復習
7	基本情報技術者試験 科目A免除対策（6）	前週講義分の確認テスト、復習
8	基本情報技術者試験 科目A免除対策（7）	前週講義分の確認テスト、復習
9	ITパスポート試験対策（1）	前週講義分の確認テスト、復習
10	ITパスポート試験対策（2）	前週講義分の確認テスト、復習
11	ITパスポート試験対策（3）	前週講義分の確認テスト、復習
12	ITパスポート試験対策（4）	前週講義分の確認テスト、復習
13	ITパスポート試験対策（5）	前週講義分の確認テスト、復習
14	ITパスポート試験対策（6）	前週講義分の確認テスト、復習
15	ITパスポート試験対策（7）	前週講義分の確認テスト、復習
16	ITパスポート試験対策（8）	前週講義分の確認テスト、復習

備　考	

情報処理科	1年

【後期】

科　目	検定対策Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	1組：土屋　貴大・川崎 結里愛、2組：木村　拓海・川崎 結里愛		
テキスト （出版社）	よくわかるマスター　基本情報技術者試験 対策テキスト　令和7-8年度版（FOM出版） 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%

単位数	5

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の科目B試験、情報検定情報システム試験、MOS試験Excel2019、SPI、B検

2. 授業の目標（検定取得など）

基本情報技術者試験の科目B試験、情報検定情報システム試験、MOS試験Excel2019、B検に合格する

3. 注意点・要望

複数の資格試験対策を並行して行います。バランス良く学習を行い、復習にも力を入れてください。

4. 関連科目

ハードウェア、ソフトウェア、ストラテジ、マネジメント、データベース、システム設計Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策、Java言語演習Ⅰ・Ⅱ、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、Office演習Ⅰ・Ⅱ、就職講座A、就職講座B、検定対策Ⅰ

週	テーマ	内　容
1	基本情報技術者試験 科目B試験対策（1）	過去問題演習、復習
2	基本情報技術者試験 科目B試験対策（2）	過去問題演習、復習
3	基本情報技術者試験 科目B試験対策（3）	過去問題演習、復習
4	基本情報技術者試験 科目B試験対策（4）	過去問題演習、復習
5	基本情報技術者試験 科目B試験対策（5）	過去問題演習、復習
6	基本情報技術者試験 科目B試験対策（6）	過去問題演習、復習
7	基本情報技術者試験 科目B試験対策（7）	模擬問題演習、復習
8	基本情報技術者試験 科目B試験対策（8）	模擬問題演習、復習
9	基本情報技術者試験 科目B試験対策（9）	模擬問題演習、復習
10	基本情報技術者試験 科目B試験対策（10）	模擬問題演習、復習
11	J検・MOS・漢字検定対策（1）、 SPI対策（1）	模擬問題演習、復習
12	J検・MOS・漢字検定対策（2）、 SPI対策（2）	模擬問題演習、復習
13	J検・MOS・漢字検定対策（3）、 SPI対策（3）	模擬問題演習、復習
14	J検・MOS・漢字検定対策（4）、 SPI対策（4）	模擬問題演習、復習
15	J検・MOS・漢字検定対策（5）、 SPI対策（5）	模擬問題演習、復習
16	J検・MOS・漢字検定対策（6）、 SPI対策（6）	模擬問題演習、復習
17	J検・MOS・漢字検定対策（7）、 SPI対策（7）	模擬問題演習、復習

備　考	

情報処理科	1年

【後期】

科　目	自己啓発	分　類	教養科目、必修科目
担　当	杉山　剛		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

自己を見つめ、長所を探す。様々な事例を考察していく中で、就職活動等に役立つ啓発を行い、強い意志を育てる。

2. 授業の目標（検定取得など）

指示したグループ内で話ができるようにする。就職面接を意識した2分間自己PRができるようにする。自信につなげる。

3. 注意点・要望

授業ファイルを携行してください。教科名ほど堅苦しくありませんが、しっかり出席してください。

4. 関連科目

ビジネス科目全般（特に社会人基礎力）

週	テーマ	内　容
1	最後の学校としての認識	FJBの歩き方
2	SPI適性検査Ⅰ	検査
3	SPI適性検査Ⅱ	性格適性の採点　自分の“タイプ”を知る
4	SPI適性検査Ⅲ	客観的長所や自己への課題を探す
5	啓発の方向性	あいさつの意味を考える
6	客観的長所	優しさのかたち
7	プロ意識とは	「自分が見ている」という考え方
8	自己PR文	2分間のスピーチができる原稿の骨組みを作成する
9	グループディスカッション	リーダー・フォロワーの役割
10	人事の正体①	第一視点と第二視点
11	人事の正体②	バイトはプロかアマチュアか
12	人事の正体③	第三視点と第四視点
13	人事の正体④	面接対策最終章1圧迫
14	人事の正体⑤	面接対策最終章2スペシャル質問
15	発想と実践Ⅰ	一流放送作家が行う発想法①
16	発想と実践Ⅱ	一流放送作家が行う発想法②

備　考	

情報処理科	1年

【前期】

科　目	Office演習Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	森廣　永江		
テキスト（出版社）	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト& 問題集　（FOM出版）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	40%	30%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す

2. 授業の目標（検定取得など）

Microsoft Office Specialist　Excel2019

3. 注意点・要望

・単に操作を覚えるのではなく、必要な場面で使える様に知識の定着を図ること
・毎回テキストを忘れないようにすること

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス	MOS試験について、成績評価について、環境の確認、EXCELの基本
2	Excel2019 演習(1)	セルやセル範囲のデータの管理1
3	Excel2019 演習(2)	セルやセル範囲のデータの管理2
4	Excel2019 演習(3)	セルやセル範囲のデータの管理3
5	Excel2019 演習(4)	出題範囲2　確認問題
6	Excel2019 演習(5)	ワークシートやブックの管理1
7	Excel2019 演習(6)	ワークシートやブックの管理2
8	Excel2019 演習(7)	ワークシートやブックの管理3
9	Excel2019 演習(8)	出題範囲1　確認問題
10	Excel2019 演習(9)	テーブルとテーブルのデータの管理1
11	Excel2019 演習(10)	テーブルとテーブルのデータの管理2
12	Excel2019 演習(11)	テーブルとテーブルのデータの管理3
13	Excel2019 演習(12)	出題範囲3　確認問題
14	Excel2019 演習(13)	数式や関数を使用した演算の実行1
15	Excel2019 演習(14)	数式や関数を使用した演算の実行2
16	Excel2019 演習(15)	数式や関数を使用した演算の実行3

備　考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。

情報処理科	1年

【後期】

科　目	Office演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	森廣　永江		
テキスト（出版社）	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト& 問題集　（FOM出版）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	40%	0%	30%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す

2. 授業の目標（検定取得など）

Microsoft Office Specialist　Excel2019

3. 注意点・要望

・繰り返し問題演習を行うこと
・毎回テキストを忘れないようにすること

4. 関連科目

検定対策Ⅱ

週	テーマ	内　容
1	Excel2019 演習(1)	数式や関数を使用した演算の実行4
2	Excel2019 演習(2)	出題範囲4　確認問題
3	Excel2019 演習(3)	グラフの管理1
4	Excel2019 演習(4)	グラフの管理2
5	Excel2019 演習(5)	グラフの管理3
6	Excel2019 演習(6)	出題範囲5　確認問題
7	Excel2019 演習(7)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策1
8	Excel2019 演習(8)/画像処理の基礎(1)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策2/画像データの種類、編集、リサイズとトリミング
9	Excel2019 演習(9)/画像処理の基礎(2)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策3/画像の補正、レイヤーの仕組み、範囲選択
10	Excel2019 演習(10)/画像処理の基礎(3)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策4/範囲選択、簡単な合成
11	Excel2019 演習(11)/画像処理の基礎(4)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策5/画像データ編集
12	Excel2019 演習(12)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策6
13	Excel2019 演習(13)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策7
14	Excel2019 演習(14)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策8
15	Excel2019 演習(15)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策9
16	Excel2019 演習(16)	模擬試験プログラムを利用しての試験対策10

備　考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。

情報処理科	1年

【前期】

科　目	社会人基礎力Ⅰ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大、2組：木村　拓海		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養う

2. 授業の目標（検定取得など）

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上

3. 注意点・要望

「モメていない」＝真剣ではない証拠、「失敗していない」＝チャレンジしていない証拠　社会に出る前に真の協調性を学ぶ

4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内　容
1	社会人基礎力とは	社会人基礎力入門書を読み、今後の成長展望を立てる
2	能力の実践（1）	企画を立てる
3	能力の実践（2）	予算案を作成する
4	能力の実践（3）	企画・予算・収支を発表する
5	社会人基礎力評価（1）	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
6	能力の実践（4）	各セクションに分かれて活動
7	能力の実践（5）	各セクションに分かれて活動
8	能力の実践（6）	各セクションに分かれて活動
9	社会人基礎力評価（2）	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
10	能力の実践（7）	各セクションの発表
11	能力の実践（8）	各セクションに分かれて活動
12	能力の実践（9）	各セクションに分かれて活動
13	能力の実践（10）	各セクションに分かれて活動
14	社会人基礎力評価（3）	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
15	前期のまとめ後期に向けて	前期の内容を振り返り、後期に向けての目標を設定する
16	前期のまとめ後期に向けて	前期の内容を振り返り、後期に向けての目標を設定する

備　考	社会人経験のある教員が、その経験を活かして社会人に必要な力の向上を指導する

情報処理科	1年

【後期】

科　目	社会人基礎力Ⅱ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	1組：土屋 貴大、2組：木村　拓海		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

前期の内容を踏まえ、経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養う

2. 授業の目標（検定取得など）

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調、プレゼンテーション等の資質向上

3. 注意点・要望

「モメていない」＝真剣ではない証拠、「失敗していない」＝チャレンジしていない証拠　社会に出る前に真の協調性を学ぶ

4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内　容
1	能力の実践（11）	各セクションに分かれて活動
2	能力の実践（12）	各セクションに分かれて活動
3	能力の実践（13）	各セクションに分かれて活動
4	社会人基礎力評価（4）	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
5	能力の実践（14）	各セクションの発表
6	能力の実践（15）	各セクションに分かれて活動
8	社会人基礎力評価（5）	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
9	振り返り	成功・失敗の要因、次年度への改善、各セクション発表
10	チームワーク（1）	発信力をつけるには
11	チームワーク（2）	傾聴力をつけるには
12	チームワーク（3）	柔軟性をつけるには
13	チームワーク（4）	状況把握力をつけるには
14	チームワーク（5）	規律性をつけるには
15	チームワーク（6）	ストレスコントロールをつけるには
16	社会人基礎力まとめ	次年度への成長展望

備　考	社会人経験のある教員が、その経験を活かして社会人に必要な力の向上を指導する